

⑨ 日本国特許庁 (JP)
⑫ 公開特許公報 (A)

⑩ 特許出願公開

昭57—43723

⑪ Int. Cl.³
A 47 L 13/16
A 45 D 34/04
B 65 D 77/10

識別記号

庁内整理番号
6748—3B
6746—3B
7909—3E

⑬ 公開 昭和57年(1982)3月11日

発明の数 4
審査請求 未請求

(全 7 頁)

⑭ 清拭塗布材型

東京都世田谷区玉川田園調布 2
— 3 — 5

⑯ 特 願 昭55—117770

⑰ 出 願 人 西村修二

⑱ 出 願 昭55(1980)8月28日

東京都江東区北砂 5 丁目 20— 3
— 324

⑲ 発 明 者 西村修二

⑳ 出 願 人 和田富美子

東京都江東区北砂 5 丁目 20— 3
— 324

東京都新宿区中落合 1—10—13

㉑ 発 明 者 和田富美子

㉒ 出 願 人 桑名容子

東京都新宿区中落合 1—10—13

東京都世田谷区玉川田園調布 2
— 3 — 5

㉓ 発 明 者 桑名容子

明 細 書

1. 発明の名称

清拭塗布材型

2. 特許請求の範囲

1. 中央で折りまげた清拭塗布材の他端に把手を装着し、清拭塗布材と把手をステッチ等で止め、防水性袋に入れて密封することを特徴とする清拭塗布材型

2. 一端をノッチ等でとめ、他端をヒンデにした箱の蓋をはずすことにより、清拭塗布材を露出することを特徴とする清拭塗布材型

3. 清拭塗布材を収納した箱を防水性袋に入れて密封することを特徴とする第 2 項記載の清拭塗布材型

4. 清拭塗布材を包装袋の内面に接着し、該袋を裏返すことにより清拭塗布材を外面に露出させ、手をぬらさないで清拭塗布することを特徴とする清拭塗布材型

5. 清拭塗布材を包装材でつつみ、包装材の端部の一部を取りはずすことにより清拭塗布材を露

出させ、残った包装材を把手として使用することを特徴とする清拭塗布材型

6. 清拭塗布材の中央部の折り曲げた部分が、包装材の把手部にはさまれていることを特徴とする第 5 項記載の清拭塗布材型

7. 包装材の一端に柄をつけることを特徴とする第 5 項記載の清拭塗布材型

8. 包装材の一端を三角状にすることを特徴とする第 5 項記載の清拭塗布材型

3. 発明の詳細な説明

本発明は、靴、鞆等の皮革製品、家具、窓等の清拭塗布出し用、顔、身体等の化粧、清拭塗布用および防虫剤塗布用を使用する手を汚さないで使用出来る携帯に便利な清拭塗布材型に関する。

従来、靴、鞆等の皮革製品や、家具、鏡、窓等を拭くために、布や紙等に水、薬剤、石鹼水等を含浸したものを使用していたが、これらのものに直接手を触れるため、手が汚れたり、ぬれたりして作業が終わった後、手を洗ったり拭いたりしなければならない欠点がある。又、清顔、身体清拭塗

(1)

(2)

布用および身体への防虫剤塗布用に使用する紙、布等にも同様な欠点がある。

本発明は、上記の欠点に鑑みてなされたもので、清拭塗布材を中央部で2つ折りにし、2つ折りにした方の端部又はもう一方の端部に把手を装着し、ステッチ、ステイプル等で止め防水性袋に入れて密封したもの、あるいは清拭塗布材を箱に入れ蓋をしたものを必要により防水性袋に入れて密封したもの、あるいは清拭塗布材を防水性袋の内面に接着し、該袋を清拭塗布材と共に裏返すことにより清拭塗布材を外面に露出させたもの、あるいは清拭塗布材を包装したものを包装の端部の一部をとり除くことによって清拭塗布材を露出し包装を取りはずしていない端部を手につくようにしたもので、前記の清拭塗布材によって被清拭塗布面又は身体各部を清拭塗布又は防虫剤塗布をすることとを特徴とする清拭塗布材型に関するものである。

本発明の実施例を順次図面について説明する。
第1図は本発明の清拭塗布材型を防水性袋に入れる前の清拭塗布用具の斜視図である。清拭塗布材
(3)

は防虫剤はマイクロカプセル処理のものでもよい。図では、清拭塗布材1を折りまげた合わせ目3を把手4とステッチで止めているが、清拭塗布剤を折りまげた中央部2に把手4をかぶせてステッチで止めてもよい。前記清拭塗布用具を第2図のような防水性の紙、プラスチック、紙・プラスチックのラミネート、紙・プラスチックとアルミ等の金属とのラミネートの袋6に入れ、密封チャック7で袋6の口をとじる。かくするとき、ポケット、カバン等に入れても清浄塗布剤又は防虫剤がしみ出すこともなく、手軽に持ち運びが出来る清拭塗布材型を得ることが出来る。本発明の清拭塗布材型を使用する時は、袋から清拭塗布用具を取り出して第3図のように把手4の上から手で持って清拭塗布材1を被清拭塗布面に押しつけると、清拭塗布材1は柔軟性があるので図のように変形して被清拭塗布面を清拭塗布しやすい形態となる。又、清拭塗布材を第4図のようにその中央部を予め2重に折りまげておき把手4のスカート部8に折り目9をつけて、使用時スカート8を折り目9にそ
(5)

1は清拭塗布用基材に清浄塗布剤又は防虫剤等を含浸したもので、清拭塗布用基材は起毛されているか、もしくは起毛されていない天然又は合成の繊維、不織布、フェルト、プラスチックからなるペーパー、適当に柔軟性のある発泡プラスチック等からなる。清拭塗布材1の中央部2を折りまげて合わせ、その合わせ目3の上にプラスチック、布、不織布、紙、ラミネート、アルミ等の金属と紙・プラスチックとのラミネート等からなるシート状の把手4をかぶせステッチ5で止める。ステッチはミシン縫等でもよいがホッチキスのステイプルを使用してもよい。清拭塗布材1は、清拭塗布用基材を中央部2を折りまげた図のような状態にしてから清浄塗布剤又は防虫剤等を含浸させても、予め清浄塗布剤又は防虫剤等を清拭塗布用基材に含浸させてから中央部2で折りまげた図のような状態にしてもよい。清浄塗布剤には水、石けん液、薬剤、ポリッシュ剤等を、防虫剤には蚊、ハエ、ブヨ等のきらう、ピレスロイド、アレスリン(ヒナミンフォルテ)等を用いる。これらの清浄塗布剤又
(4)

って外に折りまげて第5図のように使用してもよい。このとき第4図の2重折りまげた部10は被清拭塗布面を清拭塗布しやすい形に変形しやすい。

次に、本発明の他の実施例を説明すると、第6図は前記清拭塗布材1をポリプロピレン、スチロール等のプラスチック、紙、布、不織布、金属、ラミネート等から出来ている箱の容器11に入れ、蓋12をはずした状態を示す斜視図である。清拭塗布材1が箱の容器11の側面の高さより1〜20mm高くなっており、箱を手で持って前記清拭塗布用基材に前記清浄塗布剤又は防虫剤等を含浸した清拭塗布材1を被清拭塗布面に押しつけて清拭塗布する。この場合、蓋12と容器11がくっついているので蓋を他の場所においたりする手数がかからず便利である。箱の形状は、円形、楕円形、三角形あるいはその他の多角形等必要に応じていろいろの形をとり得ることは勿論である。蓋12には、蓋12を容器11にとめるノッチ13を設け清拭塗布材1の上から覆うようにヒンジ14を折りまげて、容器11に対応するノッチに
(6)

嵌合することにより清拭塗布材1を箱の中に収納する。清拭塗布材1は柔軟性と弾性があるので小さい容積となって箱の中に収められ得る。この蓋は第7図に示すように、清拭塗布材を收容する容器11の側面にぴったりとはまるように周囲に側壁15を設けてもよい。又、容器と蓋とを別個につくり円形等にし、双方の側壁にねじ溝をつけ蓋をねじ込み式にしてもよいことは勿論である。又、清拭塗布材1は必要により収納する容器の底に接着剤、ぬい付け等により固定してもよい。又、この清拭塗布材型を第2図のような防水性の袋に入れてもよいことは勿論である。

又、本発明の他の実施例は第8図のように前記清拭塗布材1を包装袋16の内面にゴム系、エポキシ系等の接着剤で接着して収納する。第8図のA-A断面を第9図に示す。この清拭塗布材型を使用するには、包装袋16のチャック7をはずして包装袋16を開封し、これを第10図のように裏がえして清拭塗布材1を露出させる。この包装袋16は紙、布、プラスチック、紙・プラスチック

(7)

略説明図、第13図又は第14図のC-C断面図、第5図のD-D断面図に示す。これらの図面において、切れ目21に沿って清拭塗布材型の容器22の端部を折れ目23を残してとり去る。その後、この折れ目23を外側に折りまげると容器22に収納されていた前記清拭塗布材1が露出されて、第16図又は第17図のような状態になる。第16図は第13図に対応し、清拭塗布材1を中央部2で単に折りまげて容器22に収納したものを中央部2とは反対の端を拡げた状態を示す。又、第17図は第14図に対応し第4図と同様に清拭塗布材1の中央部を2重に折りたたんで容器22に収納し、この2重折りまげ部10を拡げた状態を示す。これらの清拭塗布材1は必要により容器22の外被25の内面に接着剤、ぬいつけ等によりとりつけてもよい。又、綿、ガーゼ等のちぎれやすい清拭塗布用基材を使用するときは、この上に網状の布等で被った清拭塗布用基材を使用してもよい。前記外被25はアルミ・鋼等のシート、アルミ・鋼等の金属とプラスチック・紙・布等と

(9)

クのラミネート、プラスチックとアルミ等の金属のラミネート等からなり、柔軟性があるので、容易に裏がえすことが出来る。第10図のB-B断面を第11図に示す。包装袋16は三角形、梯形、半円形等の裏がえしにしやすい形状にしてもよいことは勿論である。この裏がえしにした包装袋16の開封部17に手を入れて清拭塗布材1を被清拭塗布面に押しつけて手を汚すことなく清拭塗布出来る。第8図～第11図では、清拭塗布材1が包装袋16の内面の両側面にわたってとりつけられているが、これを片面にのみとりつけたり、両方にとりつける清拭塗布材の基材を片面づつかえて、例えば一面はあらい清拭塗布材、他の片面は細かい清拭塗布材としてもよい。又、初めから第10図、第11図のように清拭塗布材を袋の外面にとりつけ、袋の開封部17に手を入れて取扱いようにし、この清拭塗布材の上から別の防水性袋をかぶせて密封した清拭塗布材型にすることも出来る。

又、本発明のもう一つの実施例を第12図の概

(8)

のラミネートシート、プラスチックと紙からなるラミネートシート、プラスチック・不織布・紙等のシートからなり、前記清浄塗布剤又は防虫剤の液が容器の内から外にしみ出ないような材料が望ましい。なお、本発明の清拭塗布材型が保管、持ち運びに際して気密を保ち、容器内の清浄塗布剤又は防虫剤が蒸発したり、外被の合せた端部からしみ出たりすることのないように、上下の外被の間に清拭塗布材1をはさみ込み、容器22の使用時外被をとりはずす端部で清拭塗布材1がない部分の内面をホットメルト、ポリプロピレンとポリエチレンの混合物からなる接着剤等により互に接着して気密を保持する。この清拭塗布材型を使用するには第16図又は第17図のように外被部の手で持つ部分24を手で持って清拭塗布材1を被清拭塗布面におしつけて清拭塗布する。かくするとき、手に清浄塗布剤又は防虫剤や汚れがつかない。

又、第16図、第17図の清拭塗布材型の使用中、清拭塗布材1が外被25からはずれてとれな

(10)

いように、第16図に対応する第18図のように清拭塗布材1の中央部の折れまがった部分の一部26が包装材の外被の手で持つ部分24の間に入りこんで使用中この手で持つ部分24をつかむと、この清拭塗布材の中央部26もつかむことになって、使用中清拭塗布材が外被25からはずれないようにすることが出来る。又、第17図に対応する第19図のように清拭塗布材1の中央部とは反対の端の合せ目3を包装材の外被の手で持つ部分24の間にはさみ込んで同様の効果がある。

本発明の他の実施例として第20図のように手で持つ部分24に柄28をつけて清拭塗布作業を容易にしてもよい。柄28に孔27をあけておくと、この部分を釘等にひっかけて展示、保管することも出来る。又、第21図のように容器を3角形状につくって三角形の一つの頂点の部分29を手で持つ部分にしてもよい。又、被清拭塗布面の状態、作業条件によっては、容器の形状を三角形以外の梯形、円形等にしてもよいことは勿論である。第22図のように、容器を箱状につくって箱

(11)

清拭塗布材型の実施例の斜視図、第7図は清拭塗布材を収容する箱形の容器の他の実施例の斜視図、第8図は本発明の清拭塗布材型の実施例の表面の袋を一部切断した破断斜視図、第9図は第8図のA-A断面図、第10図は本発明の包装袋を裏返した状態を示す実施例の斜視図、第11図は第10図のB-B断面図、第12図は本発明の他の清拭塗布材型の概略説明図、第13図第14図は第12図のC-C断面図、第15図は第12図のD-D断面図、第16図は第13図に対応する清拭塗布材型の使用状態を示す斜視図、第17図は第14図に対応する清拭塗布材型の使用状態を示す斜視図、第18図、第19図は夫々第16図、第17図に対応する手を持つ部分24の間に清拭塗布材をはさみ込んだ状態を示す斜視図、第20図は手をもつ部分に柄をつけた状態を示す斜視図、第21図は手をもつ部分を三角形状にした概略説明図、第22図は第12図の容器を箱状にした清拭塗布材型の斜視図である。

1…清拭塗布材、2…中央部、3…合せ目、

(13)

の側面のはがし材30をはがし、切れ目21を入れ、折りまげ部23を外側に折りまげて中にある清拭塗布材を露出させてもよい。

以上のように、本発明の清拭塗布材型は、持ち運びが便利な上、ポケットに入れても清浄塗布剤又は防虫剤がしみ出て衣類を汚すこともない。又、他に道具を要することなく手軽に靴、靴、窓、机、身体等を手を汚すことなく清拭塗布することが出来、且つ使い捨てが出来るので、工場、事務所、家庭等は勿論のこと、スポーツ、旅行、キャンプ、登山、海水浴、ハイキング、レジャー行楽等に便利に使用出来る利点がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の清拭塗布材型に使用する清拭塗布用具の実施例の斜視図、第2図は清拭塗布用具を収納する防水性袋の概略説明図、第3図は清拭塗布材型の使用状態を示す斜視図、第4図は清拭塗布材の中央部を2重に折りまげた状態を示す斜視図、第5図は第4図の清拭塗布用具の使用状態を示す斜視図、第6図は本発明に使用する箱型の

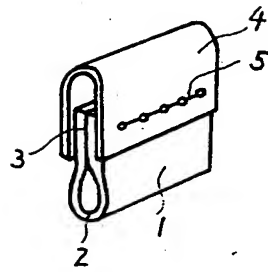
(12)

4…把手、5…ステッチ、6…防水性袋、7…チャック、8…スカート、9…折り目、10…2重折りまげ部、11…容器、12…蓋、13…ノッチ、14…ヒンジ、15…側壁、16…包装袋、17…開封部、21…切れ目、22…容器、23…折り目、24…手でもつ部分、25…外被、26…清拭塗布材の中央部、27…孔、28…柄、29…手でもつ部分、30…はがし材。

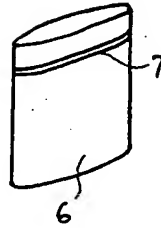
特許出願人 西村 修二 (印)
(ほか2名)

(14)

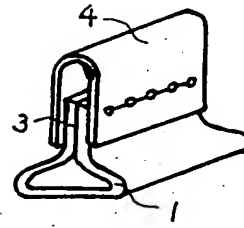
第1図



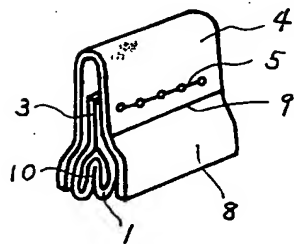
第2図



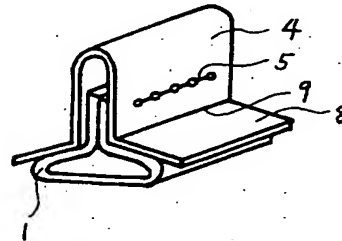
第3図



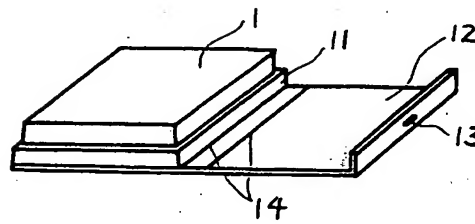
第4図



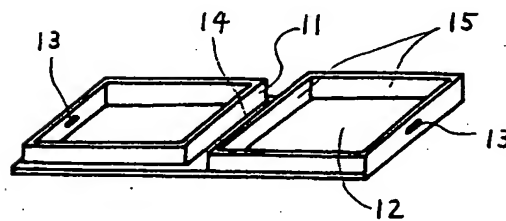
第5図



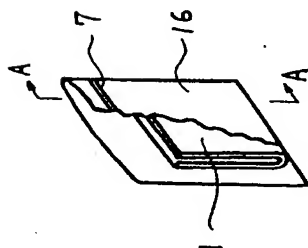
第6図



第7図



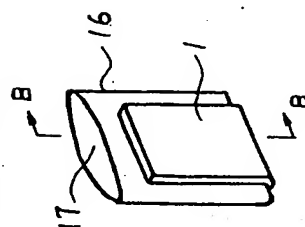
第8圖



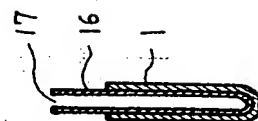
第9圖



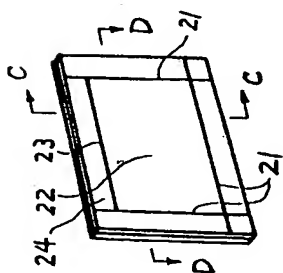
第10圖



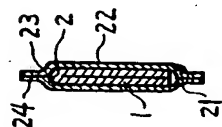
第11圖



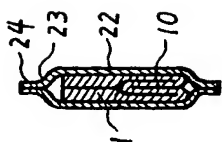
第12圖



第13圖



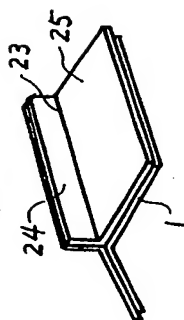
第14圖



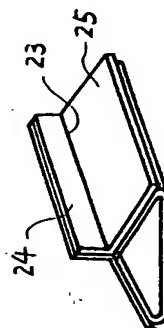
第15圖



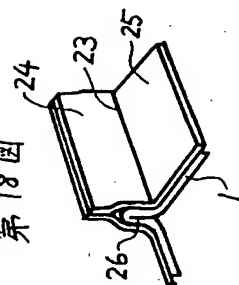
第16圖



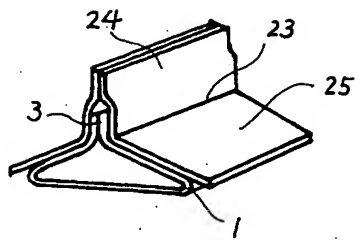
第17圖



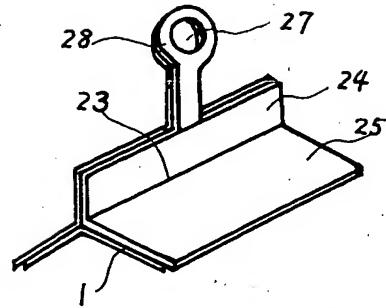
第18圖



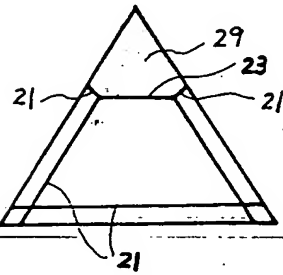
第 19 図



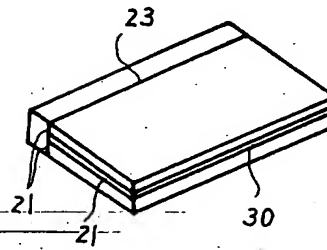
第 20 図



第 21 図



第 22 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)
